

社会福祉法人 愛知県厚生事業団



平成29年11月17日(金) 午後3時30分～
会場：名古屋市北区役所 第3会議室
講師：目黒 達哉 氏（同朋大学 社会福祉学部 教授）
演題：「コミュニケーション能力を高める傾聴」

今回の研修は、愛厚大曾根保育園 園長 遠藤陽子先生の呼びかけにより、「名古屋市幼児教育研究協議会北支部研修会」として開催されました。会場は名古屋市役所第3会議室、参加者は20代から50代の女性を中心に、約30名のみなさんでした。



優しく語りかける目黒先生

講師は、同朋大学教授の目黒先生、テーマは「コミュニケーション能力を高める傾聴」でした。臨床心理士でもある先生から、ご自身の若かりし頃の自伝も交えながら講演はスタートしました。常に笑顔絶やさないユーモアあふれる語り口で、「コミュニケーション」の難しさや「積極的傾聴」の大切さを訴えかけるものでした。

最後には、先生が準備された「NHK連続テレビ小説だんだん」の挿入歌「いのちの歌」を聴きながら温かい余韻を残した講演でした。

参加者アンケートから

- 目黒先生の優しいお人柄に触れることができ良かったです。「自分ができると思わないこと」を胸に刻んで、他の人の話を聞いていきたいと思いました。自分も穏やかな優しい気持ちになれました。(30代女性)
- 自分では傾聴しているつもりでしたが、今日の研修を受けて、思い上がりだったと痛感させられました。日々、忙しく仕事に追われる中で、「本当に大切なこととは何か」を改めて考えるよい機会となりました。また、「四苦八苦」という言葉についてのお話も心に残りました。人生を豊かにしてくれるのは、やはり「苦」の方かもしれないと思いました。(50代女性)
- 「傾聴」の難しさと大切さを改めて学ぶことができました。謙虚な気持ちで、子どもにも保護者にも、そして職員にも向き合いたいと思います。(50代女性)
- 心地よい優しい語りを通して、多くの学びをいただきました。目黒先生のお話をもっと多くの方にも聞いてほしいと思いました。「いのちの歌」は知りませんでした。胸に響きました。(40代女性)